

OGAWA' N Nature(おがわんネイチャー)

【農産物】 宣言認証者



あべちゃん畑

阿部 浩之

宣言1 小川町の資源の活用

活用している資源

- 小川町下里地区の落ち葉を活用しています。
- 小川町の田畑の畦の雑草を活用しています。
- 小川保育園の給食の残さを活用しています。

資源の使用方法

- 踏込温床(※1)に活用しています。
- 畑にすき込んで活用しています。
- 雑草を畑の表面に敷き、草マルチ(※2)として活用しています。
- 堆肥にして活用しています。

宣言2 農薬に関する宣言

- 有機 JAS 指定の農薬以外は使用していません。

宣言3 肥料に関する宣言

- 化学的に合成された成分が混入している肥料、土壌改資材（堆肥）は一切使用していません。

宣言4 農業資材に関する宣言

- ・有機 JAS に規定された農業資材以外は使用していません。

宣言5 遺伝子組み換え技術は利用していません。

宣言6 踏込温床^(※1)を実践しています。

種の自家採取、交換に積極的に取り組んでいます。

※1

踏込温床とは・・・

落ち葉や米ぬかなどの有機資源を囲いの中（ふたのない大きな箱）に入れ、水を調節して加えて踏み込むことで落ち葉などの有機資源を発酵させます。有機資源が発酵すると熱を出します（発酵熱）。その発酵熱でハウスを温めることで電気や燃料を使わない自然エネルギー100%の温室ができます。その温室があると冬でも苗を作る（育苗）ことができます。

使い終わったあとの中身は肥料になります。また、さらに熟成させると育苗の土にも使えます。資源の全てを無駄なく使う昔ながらの農家さんの知恵ってすごいですね。

※2

マルチとは・・・

作物栽培の良好な土壌環境を作るため土壌表面を覆うこと又は覆う資材。

地温管理、泥跳ね防止、土の流出防止など効果は多岐にわたるが、土壌の表面や内部に光を届きにくくすることで雑草を抑制する効果が非常に大きい。

黒いビニールが一般的だが、有機資源を使うことでゴミの発生を抑えるとともに時間の経過により堆肥のような役割も果たす。資源の全てを無駄なく使う農家さんの知恵です。